資料番号	4
------	---

令和7年7月18日
課名 土木建築局道路企画課
担当者 課長 西川
内線 3890

広島高速5号線に係る牛田地区の地表面変位の収束判断等について

1 要旨・目的

広島高速5号線シールドトンネル工事について、トンネル施工管理委員会（以下「委員会」という。）の審議結果を受け、広島高速道路公社が地表面変位の収束を判断したこと、及び知事と牛田東地区住民との意見交換会の結果について報告する。

2 現状・背景

シールドトンネル工事については本年4月にトンネル掘削工事が完了し、引き続き高速5号線の早期完成に向けて工事を推進している。

3 概要

(1) 対象者

—

(2) 事業内容（実施内容）

ア 委員会の開催結果

(ア) 開催概要

- 日 時 令和7年7月9日（水） 13:30～14:20
- 審議事項 牛田地区における地表面変位の収束について

(イ) 審議結果

牛田地区掘削完了後の1年間の地表面変位の計測を行った結果、事前計測の基準線の傾きと概ね類似で推移していることから、牛田地区におけるシールドトンネル掘削による地表面変位は収束していると判断できるということを確認した。

イ 公社における地表面の収束判断

委員会の審議結果を踏まえ、公社において、7月10日に牛田地区におけるシールドトンネル掘削による地表面変位が収束したことを判断した。

ウ 牛田東地区住民との意見交換会について

(ア) 開催概要

- 日 時 令和7年7月13日（日） 13:00～15:10
- 出席者 湯崎知事、住民代表者5名、傍聴者16名

(イ) 主な住民意見と知事回答

住民の意見	知事の回答
<p>【家屋等の補償について】</p> <ul style="list-style-type: none">・家屋等事前調査を実施している範囲については、事後調査との比較で差が出ればすべて補償すべき。	<ul style="list-style-type: none">・建物の被害に対する補償は、客観的に工事との因果関係があれば補償する。
<p>【工事中の騒音・振動について】</p> <ul style="list-style-type: none">・トンネル掘削工事の騒音や振動により、住民生活に影響を与えた。 <ul style="list-style-type: none">・住民が受けた苦しみについて、どのように精神的補償をするつもりか。一般的なものではなく、特例的な精神的補償をお願いしている。	<ul style="list-style-type: none">・騒音・振動の計測は、法に基づき公道上で行っているが、屋内では、公道上の計測値から減衰することも増幅することもあるなど事前に十分な説明が出来ていなかったことは申し訳ない。・ご不安を感じる場合のために一時避難施設を確保するなど事前の対応をさせていただいた。・そのように安全安心の確保に努めていたが、対応に不満があるということは我々も受け止めたい。・精神的な被害に対する補償については、鬱や精神的障害が出て工事と因果関係があれば補償するが、そうならないための事前の対応をさせていただいた。
<p>【避難口について】</p> <ul style="list-style-type: none">・避難口工事をするのであれば、騒音・振動の影響が出ないようにしてほしい。	<ul style="list-style-type: none">・工事において騒音・振動を無くすことは出来ないが、これまでの騒音・振動へのご不安を踏まえて、工法等を十分に検討していく。

(3) 予算（単県）

令和7年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 1,775百万円

(4) 今後の対応

- 公社において、住民説明会を7月27日(日)、28日(月)に開催し、地表面変位の収束判断、今後の家屋等事後調査や補償の考え方等について丁寧に説明する。
- 県市公社と住民代表による「協議の場」を定期的で開催するなど、引き続き、丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。